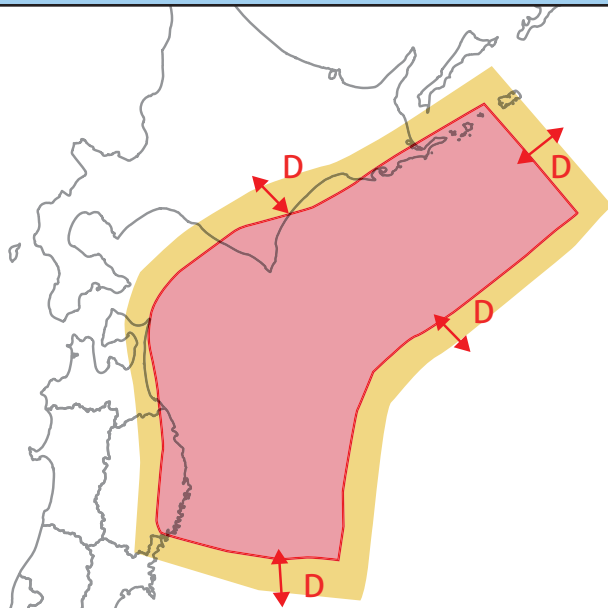


北海道・三陸沖後発地震注意情報

日本海溝・千島海溝周辺で大きな地震(マグニチュード7.0以上)が発生した場合、より大きな後発地震※1に備えて注意を呼びかける「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が、国から発表されます。市では「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表された場合は、防災行政無線やホームページなどでお知らせします。

(※1 先に発生した地震を「先発地震」、それに続いて発生する地震を「後発地震」と呼びます。)

巨大地震の想定震源域とそれに影響を与えるエリア



想定震源域 想定震源域に影響を与えるエリア
(D:発生した地震のMw※2によって変化)

※2 Mw(モーメントマグニチュード):地下の岩盤のずれにより計算された地震の規模を表す単位

発表される条件と流れ

北海道の太平洋沖から東北地方の三陸沖の巨大地震の想定震源域およびその領域に影響を与える外側のエリア(左図の着色されたエリア)において、マグニチュード7.0以上の地震が発生した場合に、気象庁において判断し、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されます。

東日本大震災のときは

3月9日
Mw7.3

続いて
発生

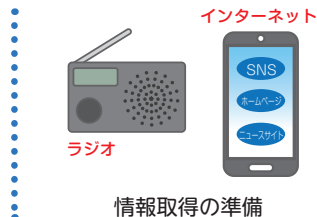
3月11日
Mw9.0

情報が発表された場合の備え

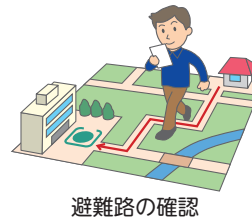
先発地震の発生後1週間程度は、家具の固定など平時からの地震の備えを再確認するとともに、揺れを感じたり津波警報などが発表された場合に、すぐに避難できるよう準備をしましょう。



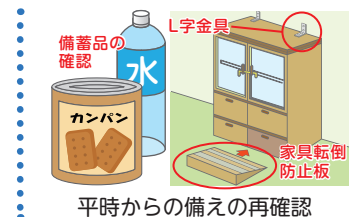
すぐに逃げ出せる態勢での就寝



情報取得の準備



避難路の確認



平時からの備えの再確認

情報の注意点

- 「北海道・三陸沖後発地震注意情報」は、後発地震の発生可能性が平時よりも相対的に高まっていることをお知らせするものであり、情報が発表されたとしても、必ず巨大地震が発生するとは限りません。また、事前避難を呼びかけるものではありません。
- 先発地震を伴わず、大規模地震が突発的に発生する可能性があります。